

若者更生「環境作り必要」

田原本 支援団体・黒川さん



講演する黒川さん(田原本町で)

「暴力団・銃器追放奈良」県民大会が8月30日、田原本町の田原本青垣生涯学習センターで開かれた。少年院から出てきた若者の更生を支援する「良心塾」(大阪市福島区)を運営する黒川洋司さん(47)が講演し、約600人が耳を傾けた。

イトーキと特許活用契約

県内2社、新商品開発へ



住宅設備の部品メーカー葛城工業(広陵町)と金属加工業M.T.C.(大和高田市)が、家具製造大手のイトーキ(東京)と特許のライセンス契約を締結した。近畿経済産業局が進める「知財ビジネスマッチング事業」の県内第一号で、今後2社は、イトーキが一般に開放している特許「起立補助椅子」を活用した新製品の開発に乗り出す。

イトーキの特許は、椅子から立ち上がるのをサポートする技術で、2社は、高齢者や障害者向けの新商品の開発を目指す。葛城工業の吉岡弘修社長は「プレッシャーは感じている。何とか新商品を生み出したい」と話し、M.T.C.の森久次社長も「自社商品の開発は夢。地域に貢献し、誰もが喜ばれる商品の開発に連携して取り組みたい」としている。

奈良中央信用金庫の高田知彦理事長は「2社とも技術力が高い企業。非常に期待している」としている。

斑鳩町は、地域の課題解決や発展を目指すため、コンサル会社「官民連携事業研究所」(大阪府四條畷市)と公民連携の促進に関する協定を結んだ。県内では、今年7月の三宅町に続き2例目。同社は昨年11月に設立。町の施策に役立つ技術などを持つ企業とのマッチング情報を無償で提供する。町は2021年の聖徳太子1400年御遠忌に向け、「聖徳太子のまち・斑鳩町」をアピールする事業を展開。子育てや産業の活性化などの施策も充実させたい考えだ。協定では、他の自治体の情報を知ることができるデータベースの活用も盛り込まれた。先月30日、協定に署名した中西和夫町長は「新たなまちづくりのモデルケースになるのではないかと述べ、驚見英利社長(43)は「政策が実現できるようにいろいろな企業を紹介したい」と語った。

チキンラーメン砕き鶏の衣



大阪府池田市が返礼品に加えた「池カラ」のセット。真空パックの鶏肉を解凍し、ほぐしたチキンラーメンを混ぜて揚げれば、自宅の手軽に作る(ここが得意)池田市役所(で)

即席麺の元祖・チキンラーメンを使った町おししに力を入れる大阪府池田市は、砕いた麺を衣にまぶした鶏のから揚げ「池カラ」をふるさと納税の返礼品に加えた。6月の制度改正で、市外で製造される即席麺が「地場産品」にあたらないとして提供中止に追い込まれたことから、ご当地グルメに着目した。市は「池田ゆかりの即席麺を返礼品に残すことができた。全国の人に味わってもらい、池田のPRにつなげたい」と意気込む。

池カラ」返礼品に登場

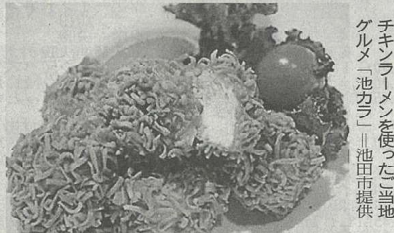
08年度以降、チキンラーメンなど同社の即席麺を返礼品に採用してきた。しかし、返礼品競争が過熱したことから、国は返礼品を「寄附額の3割以下の地場産品」に限定。返礼品に認められない事例も公表し、「区域内で創業した事業者が区域外で生産する即席麺」を盛り込んだ。これを受け、市は、即席麺を返礼品から外すことを決定した。

ただ、即席麺は、過去3年で計約2万3500件あった寄附の約6割を占める人気返礼品で、今年4・5月の2か月で1000件を超える「駆け込み」の申し込みがあったほど。このため、市は看板商品を使った返礼品を続けられないかを検討し、目を付けたのが、チキンラーメンを衣にまぶしてから揚げる「池カラ」だった。

「カップヌードルミュージアム 大阪池田」などを訪れる外国人観光客にも人気で、観光案内所で1日に100食売れる日もあるという。市の要請を受けた飲食業者

大阪・池田市「全国へPR」

「カップヌードルミュージアム 大阪池田」などを訪れる外国人観光客にも人気で、観光案内所で1日に100食売れる日もあるという。市の要請を受けた飲食業者



チキンラーメンを使った「池カラ」池田市提供

西陣織の技で紡ぐ名画

古今東西の名画などを西陣織の精密な技術で表現した作品を紹介する「西陣織あざき美術館」が、京都市下京区のツカキスクエア7階に開館した。同市で開かれる第25回国際博覧会(ICOV)京都会場を記念し、7日までは入館無料。

美術館 京都に開館

呉服卸「塚喜商事」(下京区)の製造部門、あざき事業部が開設した。7日まで開催中の「西陣織美術工芸展」では、葛飾北斎の「神奈川沖浪裏」やゴッホの「ひまわり」など、浮世絵や印象派絵画、仏教美術を忠実にデザインした丸帯や掛け軸、額装など82点を展示。京丹後市の

織職人が制作したタペストリー(縦3・4尺、横3尺)は、尾形光琳の「紅白梅図屏風」が純金箔とともに繊細に織り込まれている。入館は予約が必要だが、工芸展の期間中は不要。土・日曜、祝日は休館。通常の入館料は大人500円、大学生・高校生400円。中学生以下は無料。問い合わせは同館(075・353・5746)。



西陣織の技術で表現された尾形光琳の「紅白梅図屏風」(京都市下京区)

近鉄ケーブルネットワーク 5日 11ch 0120-333-990

9:00 おつちdeショッピング 12:00 ほんでミーゴ 12:30 コロチキの「やっべえぞ!!」

天気 北部 南部 東の(あ) 西の(あ) 午後 夜 降水確率 [20] [20] [40]

方墳と並んで 京都府理蔵寺 京都市 中ノ芝の芝山



方墳(手前)と並んで見つけた墳群(京都府理蔵寺)

「考古学写真甲子園」作品募る

県立橿原考古学研究所(橿原) 必要事項を書いて写真の裏に